

令和6年10月 斐伊川水系水質情報

令和6年10月(宍道湖1日・中海15日採水)				単位:mg/l(Chl-a: µg/l)						
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.5	△	平年並み	3.9	△	平年並み	5.0	△	平年並み
全窒素	上層	0.45	△	平年並み	0.26	○	良好	0.31	○	良好(平年並み)
全リン	上層	0.083	☆	かなり高い	0.033	△	平年並み	0.052	△	平年並み
Chl-a	上層	15	△	平年並み	6.6	△	平年並み	15	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,650	△	平年並み	9,300	△	平年並み	10,900	△	平年並み
	下層	3,660	△	平年並み	16,400	△	平年並み	11,300	△	平年並み
溶存酸素	上層	7.2		かなり低い	10.7		平年並み	10.0		平年並み
	下層	6.7		やや低い	5.9		平年並み	7.3		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	5.2	やや下降	4.6	下降	6.6	下降
全窒素	上層	0.46	横ばい	0.43	下降	0.48	やや下降
全リン	上層	0.074	横ばい	0.055	下降	0.075	やや下降

宍道湖の透明度は先月と同様に1.6mと横ばいで、平年並み。中海の透明度は2.6mから3.1mとやや上昇し、良好。米子湾の透明度は2.1mから2.0mと横ばいで、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

↑	★	<非常に高い>
↑	☆	<かなり高い>
↑	×	<やや高い>
↑	△	<平年並み>
↑	○	<良好>
↑	◎	<かなり良好>
↓	○	<やや低い> (塩化物イオン)
↓	◎	<かなり低い> (塩化物イオン)

平均値+標準偏差値の3倍
 平均値+標準偏差値の2倍
 平均値+標準偏差値
 10年間平均値
 平均値-標準偏差値
 平均値-標準偏差値の2倍
 平均値-標準偏差値の3倍

ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
 ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%